

ふるさと赤松 文化財散策マップ

〈上郡町教育委員会〉

☆ はじめに ☆

赤松地区には、中世に栄えた赤松氏ゆかりの白旗城跡（国指定史跡）、法雲寺、宝林寺などの史跡や、地藏像板碑などの南北朝時代の石造物が多くのかさかされています。

ビャクシンなどの貴重な樹木も兵庫県・上郡町の天然記念物に指定されています。

円心館やいきいき交流ふるさと館、赤松の郷昆虫文化館などのユニークな文化財の展示・公開施設にも恵まれています。

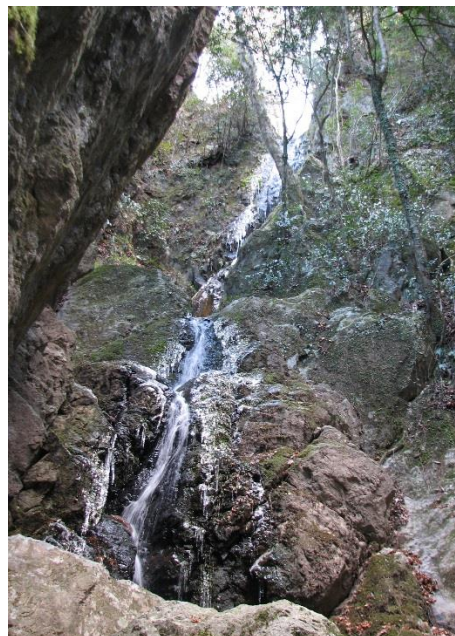


1. ツクバネガシ ◆ ★ から北西約 4.8km ◆ 【町天然記念物】

黒石のご神木で、樹齢約 800 年とみられます。瀬戸内地方では山地に分布が限られる貴重な樹木で、昭和 61 年（1986）、上郡町の天然記念物に指定されています。



ツクバネガシ



皆坂の滝

2. 皆坂の滝 ◆ ★ から北西約 4.4km ◆

滝神社のご神体で、雄滝・雌滝の大小 2 段の滝からなります。

3. 大鳥圭介生誕地 ◆ ★ から北西約 3.5km ◆

幕末から明治時代にかけて、江戸幕府の軍人、明治政府の技術官僚、日清戦争の際の外交官など、多方面で活躍した大鳥圭介は、天保 3 年（1832）、赤穂郡細念村（現在の岩木丙）に生まれました。



彼を顕彰してその生家を改築し、「いきいき交流ふるさと館」として圭介の関係資料を展示・公開しています。

いきいき交流ふるさと館

4. 大避神社のコヤスノキ ◆ ☆ から西約 2.2km ◆ 【県天然記念物】



神社の叢林に生育するコヤスノキは、国内では西播磨～東備前に分布が限られる貴重種で、昭和 57 年（1982）、兵庫県の天然記念物に指定されています。

大避神社の叢林遠望

5. 鍛冶宝篋印塔 ◆ ☆ から南西約 1.1km ◆ 【県文化財】

南北朝時代の供養塔で、銘文から、明徳元年（1390）に赤松上村の一結衆によって造立されたことがわかります。昭和 61 年（1986）、兵庫県の有形文化財（建造物）に指定されています。

6. 鍛冶地蔵像板碑 ◆ ☆ から南西約 1.5km ◆ 【県文化財】

南北朝時代の地蔵立像で、銘文から、延文 4 年（1359）に延行という願主によって造立されたことがわかります。昭和 61 年（1986）、兵庫県の有形文化財（考古資料）に指定されています。

7. 鍛冶口地蔵像板碑 ◆ ☆ から南西約 1.4km ◆ 【県文化財】

南北朝時代の地蔵立像で、銘文から、康暦元年（1379）に造立されたことがわかります。昭和 63 年（1988）、兵庫県の有形文化財（考古資料）に指定されています。



鍛冶宝篋印塔



鍛冶地蔵像板碑



鍛冶口地蔵像板碑

8. 落 岩 ※上郡町井上 ◆★ から南約 1.5km ◆

江戸時代、千種川に大岩が落ち、水害の原因となっていたのを、明治 28 年（1895）に赤松村が大部分を撤去しました。その顛末が大枝新の大酒神社絵馬に記されています。

9. 法雲寺のビャクシン ◆★ から北約 0.2km ◆ 【県天然記念物】

赤松円心が開いた法雲寺のビャクシンは赤松円心のお手植と伝えられ、樹齢約 600～800 年と推定されます。ビャクシンとしては国内最大級の巨木で、昭和 52 年（1977）、兵庫県の天然記念物に指定されています。



法雲寺のビャクシン



苔縄筆塚

10. 苔縄の筆塚 ◆★ から北約 0.2km ◆ 【町史跡】

元治 2 年（1865）、師の千種惣右衛門朝貫を顕彰して門弟たちが建立了しました。平成 3 年（1991）、上郡町の史跡に指定されています。

11. 苔縄城跡 ◆★ から北西約 0.7km ◆

元弘 3 年（1333）、赤松円心が鎌倉幕府打倒の兵を挙げた城といわれています。城跡といわれる山上の愛宕社のまわりに堀跡などはみられず、見張り場として使われていたようです。

12. 白旗城跡 ◆ ★ から北東約 3.0km ◆ 【国史跡】

建武3年(1336)に赤松円心が築城し、新田義貞勢の攻撃を防ぎ止めて以降、赤松氏の本城として、戦国時代までの赤松氏の歴史に度々登場します。平成8年(1996)、赤松氏城跡として国史跡に指定されています。



白旗城跡（山上）と白旗八幡神社跡・栖雲寺跡（山麓）



白旗城・本丸跡



白旗城・櫛橋丸から赤松方面遠望

13. 白旗八幡神社跡・栖雲寺跡 ◆ ★ から北約 2.0km ◆



白旗八幡神社は白旗城築城の際、鎮守として創建されたと伝えられ、一切経が納められるなど、赤松氏にとって重要な社でした。明治32年(1899)に赤松五社八幡神社に合祀されました。

栖雲寺は赤松円心の次男貞範の創建で、松雲寺はその後身と伝えられます。

白旗八幡神社跡の石碑と五輪塔群

14. 赤松居館跡 ◆ ☆ から北約 1.9km ◆

赤松円心の館跡と伝えられる高台で、史料から則祐以下、赤松氏代々の館とおもわれます。その一面に「赤松の郷 昆虫文化館」が開設されており、世界中の虫についての標本や民俗資料などを展示しています。



赤松居館跡と松雲寺、宝林寺（手前から左奥へ）



松雲寺と境内のカヤ

15. 松雲寺のカヤ ◆ ☆ から北約 1.9km ◆ 【町天然記念物】

樹齢約 700～800 年とみられ、カヤとしては西播磨屈指の巨木です。昭和 61 年（1986）、上郡町の天然記念物に指定されています。

16. 宝林寺の赤松三尊像 ◆ ☆ から北約 2.1km ◆ 【県文化財】

赤松則祐が開いた宝林寺は、赤松氏の庇護の下、臨済宗として格の高い十刹じっせつに列しました。

境内の円心館には、赤松円心・則祐（円心三男）・別法和尚（雪村友梅）・覚安尼（千種姫）の木坐像が展示されています。昭和 51 年（1976）、兵庫県の有形文化財（彫刻）に指定されました。



宝林寺境内の円心館



赤松三尊像